

2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 座小田 孝安
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下屋敷 寛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	10,738	2.2	412	12.1	206	19.3	112	31.0
2018年3月期第3四半期	10,506	11.0	468	462.5	255		163	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 114百万円 (29.1%) 2018年3月期第3四半期 161百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	9.84	
2018年3月期第3四半期	14.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	17,963	1,179	6.6	102.76
2018年3月期	18,035	1,110	6.2	96.81

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,179百万円 2018年3月期 1,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		4.00	4.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,250	2.8	401	25.1	115	54.1	38	83.0	3.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	11,476,000 株	2018年3月期	11,476,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	137 株	2018年3月期	137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	11,475,863 株	2018年3月期3Q	11,475,909 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資は底堅く推移し、雇用・所得環境の改善により長く低迷していた個人消費も持ち直しに向かうなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、米中間の貿易摩擦の影響が今後懸念されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

介護サービス業界においては、高齢社会の進行に伴い、介護サービスの需要は一層拡大することが予想されます。また、2018年4月の介護報酬改定では改定率0.5%のプラスとなっており、「質の高いサービス」や「自立支援・重度化防止に資するサービス」については1.0%相当のプラス改定が行われております。一方で給付の適正化で0.5%のマイナス部分もあり今後どのように事業の運営を行っていくのかが問われる改定となっております。

このような状況のもと当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）におきましては、収益面では、主に前事業年度に開設した施設において、新規利用者の獲得と充実したサービスを提供すること等、施設稼働率の向上に努めました。また、介護職員等に係る人件費の増加や業容拡大に伴う管理部門の強化による販管費の増加等により、費用が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は107億38百万円（前年同四半期比2.2%増）となり、営業利益は4億12百万円（前年同四半期比12.1%減）、経常利益は2億6百万円（前年同四半期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億12百万円（前年同四半期比31.0%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①デイサービス事業

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努めてまいりましたが、介護報酬改定の影響もあり、売上高は26億14百万円（前年同四半期比2.8%減）、セグメント利益は2億75百万円（前年同四半期比26.9%減）となりました。

②施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は74億40百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は9億35百万円（前年同四半期比23.8%増）となりました。

③在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりましたが、売上高は6億31百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント損失は74百万円（前年同四半期はセグメント損失48百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は36億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億34百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が1億82百万円増加し、売掛金が1億35百万円千円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は142億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5百万円減少しました。この主な要因は、有料老人ホーム及びデイサービス施設の建物及び構築物が1億98百万円、リース資産が1億63百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は54億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億97百万円増加しました。この主な要因は、短期借入金が6億15百万円増加したことによるものであります。（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は113億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億37百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が5億48百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が67百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は179億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月8日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	863,027	1,045,975
売掛金	2,271,752	2,407,375
その他	208,774	225,160
貸倒引当金	△2,410	△3,300
流動資産合計	3,341,144	3,675,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,200,494	5,002,250
土地	2,204,476	2,291,838
リース資産(純額)	4,345,481	4,181,797
その他(純額)	121,414	139,787
有形固定資産合計	11,871,866	11,615,674
無形固定資産	58,332	62,227
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,170,195	2,160,963
その他	593,589	449,531
貸倒引当金	△88	△438
投資その他の資産合計	2,763,696	2,610,057
固定資産合計	14,693,895	14,287,958
資産合計	18,035,039	17,963,170

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,170	218,312
短期借入金	2,600,000	3,215,000
1年内返済予定の長期借入金	731,256	731,256
未払法人税等	115,150	26,725
賞与引当金	195,062	53,878
その他	1,099,635	1,220,983
流動負債合計	4,968,275	5,466,156
固定負債		
長期借入金	5,354,203	4,805,761
リース債務	5,299,739	5,176,867
退職給付に係る負債	377,061	416,744
その他	924,779	918,410
固定負債合計	11,955,783	11,317,784
負債合計	16,924,058	16,783,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	372,305	439,353
自己株式	△33	△33
株主資本合計	1,112,582	1,179,630
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△400
その他の包括利益累計額合計	△1,600	△400
純資産合計	1,110,981	1,179,230
負債純資産合計	18,035,039	17,963,170

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
売上高	10,506,202	10,738,776
売上原価	9,308,965	9,452,998
売上総利益	1,197,236	1,285,777
販売費及び一般管理費	728,473	873,744
営業利益	468,762	412,033
営業外収益		
受取利息	8,554	8,156
受取賃貸料	10,482	10,587
その他	11,559	12,665
営業外収益合計	30,596	31,409
営業外費用		
支払利息	241,116	236,571
その他	2,299	337
営業外費用合計	243,415	236,908
経常利益	255,943	206,534
税金等調整前四半期純利益	255,943	206,534
法人税、住民税及び事業税	37,443	25,975
法人税等調整額	57,559	67,608
法人税等合計	95,002	93,583
四半期純利益	160,941	112,951
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,800	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,742	112,951

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	160,941	112,951
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	75	1,200
その他の包括利益合計	75	1,200
四半期包括利益	161,017	114,151
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,817	114,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,800	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,690,146	7,114,231	653,738	10,458,115	48,086	10,506,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	166,447	166,447
計	2,690,146	7,114,231	653,738	10,458,115	214,534	10,672,649
セグメント利益又は 損失(△)	376,378	756,147	△48,755	1,083,770	27,939	1,111,709

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉用具事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,083,770
「その他」の区分の利益	27,939
セグメント間取引消去	△235
全社費用(注)	△642,712
四半期連結損益計算書の営業利益	468,762

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,614,028	7,440,783	631,246	10,686,057	52,718	10,738,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	321,616	321,616
計	2,614,028	7,440,783	631,246	10,686,057	374,334	11,060,392
セグメント利益又は 損失(△)	275,107	935,820	△74,404	1,136,523	48,322	1,184,845

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,136,523
「その他」の区分の利益	48,322
セグメント間取引消去	△30
全社費用(注)	△772,781
四半期連結損益計算書の営業利益	412,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
1株当たり四半期純利益	14円27銭	9円84銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益（千円）	163,742	112,951
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益（千円）	163,742	112,951
普通株式の期中平均株式数（千株）	11,475	11,475

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。